

## 日経500種平均、採用銘柄入れ替え

日本経済新聞社は日経500種平均株価の算出対象銘柄を一部入れ替える。28日と4月1日の2回に分けて実施する。売買高、売買代金、時価総額を基準に毎年銘柄を見直しており、今回入れ替えるのは27銘柄。合併による上場廃止にも同時に対応する。

3月28日 【除外】＝藤沢薬、【採用】＝T&D

4月1日 【除外】＝ホクト、ガス開、前田建、関電工、雪印、キリンビバ、日曹達、アイカ、持田薬、キッセイ、NECソフト、ノリタケ、タクマ、フジテック、双葉電、ショーワ、三城、十六銀、北国銀、百十四、相鉄、住友倉、東映、日立情報、アサツードキ、日システムデ、【採用】＝マルハ本社、石油資源、三井住友建、NECフィル、NSSOL、総合警備、ニイウス、パソナ、富士レビ、ラウンドワン、グッドウィル、スカパー、合同鉄、井関農、コロムビア、日産ディ、ドンキホーテ、ペンタックス、三協精、アシックス、ニッシン、東海東京、大京、レオパレス、光通信、インボイス

◇

日本経済新聞社とロンドン証券取引所は通常4月1日に実施しているISE/NIKKEI 50の銘柄入れ替えを延期する。ロンドン証券取引所が日本株売買の仕組みを変更したことに伴い、同取引所の指数を運営するFTSEと入れ替え基準の見直しを検討中のため。